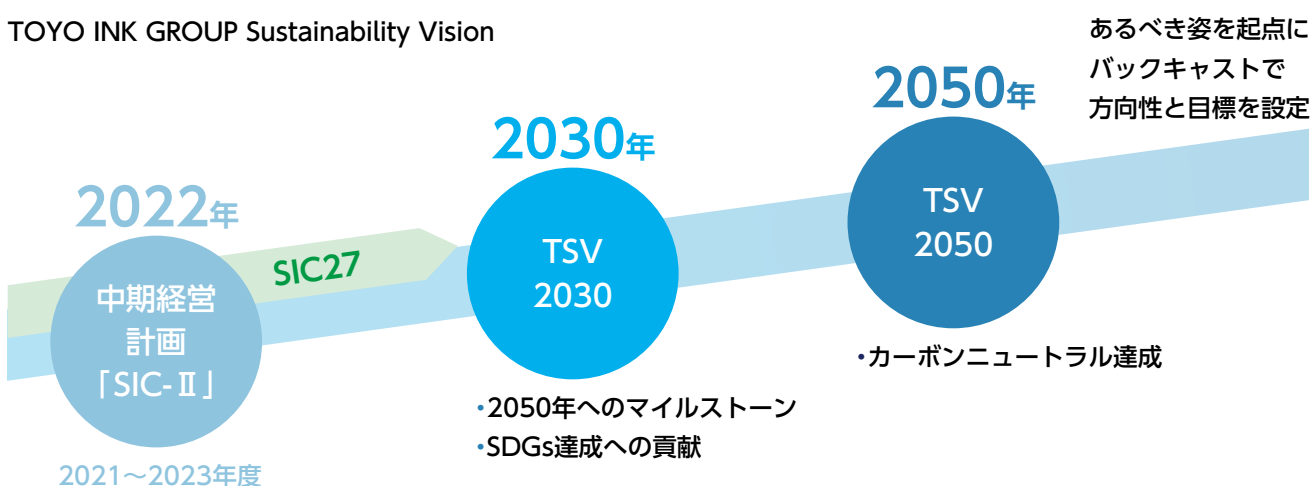


2050年を見据えた中長期目標 サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」

気候変動をはじめとした地球環境問題や持続可能な原材料調達、多様性の尊重など、解決すべき社会課題はさまざまです。当社グループは、企業の持続的成長のためには「Environment (環境)」「Social (社会)」「Governance (企業統治)」を考慮した事業活動が不可欠であり、より長期的な視点での取り組みが必要であるとの考えから、2022年1月、サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定しました。

TOYO INK GROUP Sustainability Vision



TSV2050/2030は、2050年を目標年としてあるべき姿を示した「TSV2050」と、そのマイルストーンとしてバックキャストした2030年目標の「TSV2030」の2つで構成され、「持続可能な社会を実現させる製品・サービスの提供」「モノづくりでの環境負荷低減」「信頼される企業基盤の構築」の3つの方向性で目標を定めています。今後は、TSV2050/2030をサステナビリティ活動の指標とし、

中期経営計画「SIC-II」で掲げた「2050年カーボンニュートラル達成」を目指して取り組みを進めていきます。

当社グループは、人々の生活と文化を豊かにするために、その時々の方が必要とする製品やサービスを提供することで、社会の発展に貢献してきました。それは、経営理念の「世界にひろがる生活文化創造企業を目指す」であり、私たちの存在意義（パーパス）です。

1. 持続可能な社会を実現させる製品・サービスの提供

当社グループは、ライフサイクルの各段階に基準を設け、一定の条件を満たした製品を環境調和型製品として世に送り出してきました。また、人々の暮らしの快適さ、健康・福祉、安全・安心といったさまざまな“生活価値”を高める製品も多く提供しています。“環境価値”と“生活価値”を備えた、お客様の期待を超える新たな価値・サービスを提供します。

TSV2030	TSV2050
<ul style="list-style-type: none"> ◆サステナビリティ貢献製品売上高比率80% ◆ライフサイクル視点でCO₂排出削減に貢献できる製品の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ◆すべての製品をサステナビリティ貢献製品に ◆お客様の脱炭素化に貢献

サステナビリティ貢献製品

TSV2050/2030の策定に伴い、従来の環境調和型製品の定義の見直しを行い、環境に配慮した製品の提供を「環境価値」、人々の暮らしの快適さ、健康・福祉、安全・安心に寄与する製品の提供を「生活価値」とした「サステナビリティ貢献製品」を新たに決めました。

サステナビリティ貢献製品で定義する環境価値・生活価値とその方向性・事例

提供価値	方向性	キーワード／取り組みの事例
環境価値	容器・パッケージ領域	リデュース／石化原材料比率の低減・置き換え
		リプレイス／製品構成の簡素化、紙への置き換え
		リサイクル／プラスチック循環を支える材料・システム展開
	モビリティ・エネルギー領域	輸送のEV化／EV化加速に貢献する素材や技術の提案・先行開発 クリーンエネルギー・新エネルギー／地球環境に優しい新たな発電システムの開発・素材提案
	カーボンリサイクル	CCUS(CO ₂ 回収・有効利用・貯留)技術への挑戦、CO ₂ 由来原材料の活用
生活価値	メディカル・ヘルスケア領域(予防・診断、治療、安全・安心) 通信・エレクトロニクス・デジタル領域(高速・大容量通信、高度なセンシング、ビッグデータ)	

2. モノづくりでの環境負荷低減

気候変動をはじめとする環境問題への対策はモノづくり企業の必須課題です。当社グループは、理念の行動指針に地球と共生することを掲げています。モノづくりでの「エネルギー使用量の削減」「エネルギーの低炭素化」「電力の低炭素化」を推進するとともに、環境負荷低減に資する環境マネジメントシステムの構築・維持に努めます。

TSV2030	TSV2050
<ul style="list-style-type: none"> ◆CO₂排出量 国内35%削減(2020年度比) 海外35%削減(2030年度BAU比) ◆廃棄物外部排出量 国内50%削減(2020年度比) ◆有害化学物質排出量 国内30%削減(2020年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産活動でのCO₂排出量を実質ゼロ、環境負荷を最小化 ◆廃棄物の発生を最小化 ◆持続可能な水利用を実現

3. 信頼される企業基盤の構築

コーポレート・ガバナンスを強化していくことは、腐敗・汚職の防止や事業リスクの回避だけでなく、企業の収益や中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を支えます。また、サプライチェーンも自社の社会的責任ととらえて、人権、労働、環境などに配慮した取り組みが必要です。当社グループは、健全で透明性の高い経営体制を構築し、サプライチェーンでの共創、ステークホルダーとの対話による課題解決や社会貢献を通じて、社会からの信頼と企業価値の向上を実現します。

TSV2030	TSV2050
<ul style="list-style-type: none"> ◆環境・社会調和な原材料調達の実現 ◆社員の多様性の尊重、自然・地域との共生 ◆絶え間ないガバナンス体制の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◆サプライチェーン、人材・地域活動、ガバナンスを環境・社会貢献の視点で継続的に改革・変革